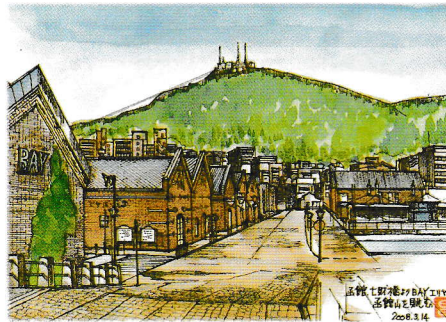


2024年度
(令和6年度)

柏ヶ丘

函工同窓会報 第75号



《発行日》
令和7年2月28日

《発行所》
北海道函館工業高等学校
函工同窓会本部事務局
〒041-0844 函館市川原町 5 番13号
TEL 0138-51-2271

表紙イラスト・挿絵
上田 昌三 (S35建築科卒)

会長就任挨拶と今後の同窓会活動について



函工同窓会長
杉 本 勉

参加いたしました。

普段お会いできない先輩方に少々緊張いたしました。温かく迎えていただきました事、感謝申し上げます。

挨拶の中で本部同窓会の活動状況や函館市の近況等をお話いたしました。特に自治体ブランドランキングで函館市が堂々の全国第1位になりましたと話したところ大きな歓声が上がりました。函館への地元愛を大変感じるところです。また、支部の皆さんと話をすることで関東支部もやはり役員高齢化が問題だとお聞きし、若い会員がなかなか参加してもらえない状況だとお聞きました。この問題は本部も同じであると感じました。現在、函館市は少子高齢化と言う非常に難しい状況にあります。

昨年の報道で50年ぶりに函館市の人口が24万人を割ったということがございます。この人口減少問題は、簡単に解決する問題ではありませんが、我が母校と同窓会にも非常に関係のあることと思っております。

同窓会の直近の課題として、皆様と協議している今後の同窓会の存続のあり方についてどう進めて行くのか議論を深めなければならぬと思っております。

各科会の皆様により、少しでも若返り出来るように努力して頂き、函工同窓会が今後とも永年に亘り、存続して行ける様、精一杯、皆様とともに頑張りたいと思っております。そしてその先には、函工創立120周年という大事業を迎える事となりますので、皆様の今後、益々のご理解とご協力の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

「余生から与生へ」



北海道函館工業高等学校長
坂 野 裕 悦

同窓会の皆様には、日頃から本校の教育活動に御理解と御協力、多大なる御支援をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

同窓会は令和6年度から杉本勉氏が新会長に就任され、新たな体制となりました。創立120周年へ向けて、更なる発展を祈念しております。

私ごとですが高校の同級生五十人が夏に集まりました。卒業後四十二年ぶりに会う仲間との時間はとても楽しいものでした。当時は話したことのない人と話したり、自分は忘れていたことを聞かされて思い出し、恥ずかしくなったりと一瞬にして高校時代に戻ったようでした。

また、還暦ということもあり、皆が今後の身の振り方について考えているようで、思い出話に加え、これからの人生について夢を語り合うこともできました。私たちは東京オリンピックの年に生まれましたので、次は四年後に再会を約束し別れたところです。

私たち公務員の定年は延長されていますが、私は役職定年で管理職を退くことになりました。そんなこともあり、今後のことを考えながら、読んだ本にこんな内容が載っていました。

機械・電子機械科

同窓会総会に参加して

令和6年6月7日（金）、同窓会が開催された。参加人数は103名と報告があったが、機械・電子機械卒業生の参加人数が12名だった。副会長（女性）が努力してくれたのでしよう、女性の参加が目立っていた。議題は特に問題はなく認められた。

写真は、前同窓会長、札幌支部から来てくれた高田さんを含めた集合写真である。時を超えて同じ学び舎で過ごしたメンバー、楽しかったです。

（S1機械科卒 近藤 司／記）

昭和51年機械科卒クラス会

昭和51年機械科卒業、田公クラス会が8月に行なわれた。出席者は10名で、皆さん66歳を超えました。

M浦が札幌から久しぶりに参加してくれた。引退して何もしていないけど、孫が大変、たまに面倒見るのはいいけど毎日だとすごく大変だと語っていた。H田は退職した後、現在アルバイト中。来年ぐらいには辞めようと思っている。釣りが趣味。次の幹事を引き受けてくれました。K内はアルコールあまり得意ではないらしくビーチ入りの果実酒を飲んでいました。昨年度まで、前職の会報の作成お手伝いをしていましたが、この4月からはフリーになる予定。

S井は、コロナ禍がおわたったので、お祭りでもこし担ぎに精を出している。亀



函工同窓会総会・懇親会



昭和51年 機械科卒クラス会

田八幡宮が終わった後はみんなでジンギスカンを食べた満足そうでした。まだ働く予定という。Y幡は定年で引退後、H空港のカラスなどを撃退している。来年3月まで契約。T田は自営業まだ現役で働いている。あと10年は働くと思巻いていた。大病後、3か月検診で少し数値が上がってきたので注意していると報告。

Y田は退職後年金生活で4年ぐらい？年金のほとんどはゴルフに使っている。

昨年は沖縄に行ってきた。ゴルフの腕は、「上手い」と言われている。H塚は救急車で運ばれた話。手が上がらないので「へんだ」と思った。みんなもそういうことになったら気を付けるようにとの報告。T山は再雇用になってまだ働いている。少し、太ったように見えました。

みんな老年太りです。後日、K賀と会いました。城岱牧場（から大沼を通過して帰

る）を回って帰る。まもなく爺さんになるらしい。また、O木が来て10月7日に会いました。S井とT山も同席し、五稜郭の居酒屋へ。クラスメートの現状を一人一人聞き入っていました。

写真はクラス会参加者と、右にK賀とO木を載せました。楽しかったです。

（S1機械科卒 近藤 司／記）

建築科

「転職して気づいた事」

私は函工を卒業してから今現在に至るまで大手企業に2度入社しました。函工建築科は平成24年に卒業したのですが、卒業をするまで特段どこに勤めたい等の目標はなく、取り敢えず自分が小学4年生からやりたいと思っていた大工にはなりたいと思い、函工在籍中にもづくり大会の講師として北海道立函館高等技術専門学院建築技術科の課長に大工の技術を教わったこともあり、その専門学院のことを調べ大工見習いのようなことを学べると知り函工卒業後は専門学院の方で大工の知識や技術を学びました。

専門学院は2年制でしたので2年間辛いこともありましたが自分のやりたかった大工の勉強をすることができ毎日楽しく充実した日々を過ごせました。そして、いよいよ社会人としての第一歩を踏み出すというときに私は漠然と関西圏に行つてみたいという思いがあり丁度その時に本社を東京に置く一建設株式会社で大工見習を募集しており、その会社の支社が

おかつば頭に、大阪弁の特徴的な甲高い声―俳優の竹原芳子（どんぐり）さんは、証券会社の営業や宝くじ売り場の販売員、裁判所の臨時事務官などを経て、五十七歳で映画デビューを果たしました。芸能界入りを目指したのは五十歳の時だったそうです。周囲には反対する意見も多かったようですが、彼女は年齢を理由に「自分なんてこんなもんだ」と決め付けず、自分の可能性を信じようと決めたそうです。「人間は年齢じゃない」「いくつになっても挑戦できる」と。（『還暦のシンデレラガール』サンマーク出版）

また、新聞にはこんな記事も載っていました。専門学校に通う六十七歳の知人を訪ねた時のこと。彼は会社を定年退職した二年前に、新しい挑戦を決意した。

室内造形科で家具の製造などを学んでいた。現在は国家資格の「家具製作技能士」を目指し、勉学に励んでいるという。「実技はいいのですが、学科がね。何しろ。覚えたそばから忘れていくので」。そう言って笑う表情から、充実の毎日が伝わってきた。と、ありました。

かつては多くの人が定年後を「余生」と捉えてきました。そうした考え方に対して、これからは長年培ってきた力をもって地域に、希望を、活力を与える「与生」であらねばならないと思います。

理想に燃えて生きる人はいくつになっても若々しく、その姿は、人生百年時代の希望ではないでしょうか。

最後になりますが、今後も同窓生の皆様には、後輩である函工生の応援と、本校への御支援、御協力をよろしくお願いいたします。

関西圏にもあるということとでそちらの方に面接をさせていただき見事内定をもらい兵庫県西宮支店の方で働かせて頂くことになりました。

これが1度目の大手企業への入社となり、約2年半勤めました。なぜこれほどまでに自分のやりたかった大工という仕事と行ってみたかった関西圏での就職が続かなかったかという第一は人間関係で第二が夏の暑さということがありました。人間関係は自分も悪かったのかもしれませんが自分がストレスで毎朝吐き気を催すくらい仕事に行きたくなかったです。初めての土地で初めての人達で訛りや方言を馬鹿にされていたというのもあり気軽に相談できる人もいなかったので早く休日にならないかと毎日思っていました。そして、退職するきっかけとなった夏の暑さかというと、夏が暑いのは当たり前のことなのですが想像以上の暑さだったということとその中で外作業をしなきゃいけないということでした。ずっと続けていけば慣れたのかもしれませんが人間関係も最悪だったので退職して帰郷することを決めました。

帰郷してからは半年くらいニートをしていたのですがこれじゃいかんと思い、株式会社小倉工務店に友達が就職していたのでその友達に求人しているか聞き友達の紹介という形で中途採用が決まりました。この会社では設計をやりたかったが、始めは現場のことを知ってほしいということもあり現場監督を少しだけやりそれから設計業務をさせてもらうことになりました。株式会社小倉工務店では7年間勤めさせて頂きました。

それから現在勤めさせて頂きたいという株式会社アイ工務店にスカウトされ2度目の大手企業へと就職することになりました。株式会社アイ工務店でも設計業務をさせて頂いております。1度目の大手企業と業務は違えど、その会社独自のルールというものが結構厳しく、大手企業に勤めるといことは、法令遵守はもちろん、その会社独自のルールをしっかりと守らないといけないので若干身動きがとりにくい部分もありますが他の都道府県の情報だったり社員の行事を通してのコミュニケーションが取れたりと自分の知らなかった知識や技術を知る機会があるのでその点では大手企業に勤める楽しさというのは大手企業と中小企業どちらにも経験してみないと分からないかもしれません。

(H24建築科卒 溝口 誠/記)

化学科

「化学の窓スヘリベホ」

―函工同窓会― 化学科会の活動状況等

◎活動状況等の回顧録、忘備録

小生が、同窓会の活動に係わりを得たのは、平成19年の7月に小生が内地から函館に転居した際、在学中に化学実習実験で指導を受けた、荻宿先生（工化S29年卒）の自宅を同年の秋口に訪問して、化学同窓会活動へのお誘いを受けたことに始まります。同会への関与が、約15年経過したことを契機に、今後の活動の一

助になればと思料して寄稿します。

1. 組織体について

函工同窓会本会は、同窓会会則にその定義があり、会則・運営上の役員・会議体等が規定されています。又各地の支部の設置（関東、関西、札幌等）についても同様です。それと同じレベルと考えますが、各科会の同窓会会長をトップとしての科会事務局も、同窓会会務の事務運営の為に設けられています。

2. 組織体の主な事務・行事について

①同窓会本会では
本会事務局による、同窓会会計の予算決算・会報発行などの事務があり、特に大きな行事として、年に一度開催される、同窓会総会・懇親会の実施と思われ、会場・進行、挨拶者の手配等の気配りがなされています。

②化学科会事務局では

本会事務局の指導の下、化学科同窓者への報告・連絡等を担っていますが、特に大きな事務として、本会総会・懇親会の進行を担う当番があります。

当番事務として、進行司会・懇親会での余興立案・実施を担い、各科会の特色が現れます。小生の把握している化学科会の当番は、平成23年度の本会総会でした。その時の科会長は、S29年卒の林和夫さん。事務局メンバーに、S29年卒の方が数名いて、その方々の企画力・行動力により、スムーズに事が運び無事終了したと記憶しています。懇親会の余興は、アマチュア歌手による、シャンソン歌謡会でした。

又同年には、開校100周年の記念行事があり、各科会で寄付金の募集を行いました。

ましたが、林科会長を中心にしたS29年卒の方々の活躍が記憶に強く残っています。

その次の総会当番は、平成29年度でした。科会長は、S40年卒の今義一さん。函水の教員もなされていたようで、今さんは、化学科会員の交流・親睦を熱く話されていたことを記憶しております。余興は、ビンゴゲームで、参加者の大方に景品が当たりました。

令和3年には、開校110周年の記念行事がありました。S38卒の科会長、北條譲さんの下でも寄付金募集の活動がありました。北條さんのエネルギー的な動き・気配りにより、化学科会への寄付目標額を、無事集めることができました。尚、北條さんは、函館の歴史等レベルを問う函館検定／上級者試験に合格している、函館西部地区にある「七福神巡り」の案内ボランティアや、野球チーム「函館オーシャン」に所属していた、名捕手久慈次郎の活躍を講演するなど地域活動に活躍されています。現役引退後のセカンドライフに前向きな方だと推察しております。

函工クイズ

現在の新同窓会館
「柏が丘ホール」が
完成してから今年で
何年を迎えるか
ご存じでしょうか？

- ① 18年目
- ② 28年目
- ③ 38年目

QUIZ?

答えは、P.8 左下

③令和7年度の総会・懇親会当番

化学科会の当番予定が回って来るようです。現、北條科会長の指導を得て、トラブルなくスムーズに終えたいと思います。

3. 終わりに

化学科会事務局では、新たなメンバーの加入が叶わず高齢化が進んでいます。メンバー加入活動の促進を進め、現行メンバーの知恵等を拝借しながら、化学科会の運営を進めて行きたいと思っています。

(S46化学科卒 松橋 敬/記)

工芸・インテリア科

函工の卒業生として

私は、平成2年にインテリア科を卒業して市内の会社勤めした後、平成9年に建築技術職として函館市役所に入庁し、現在は都市建設部に勤務しております。

私達のクラスは40人中13人が女子でしたが、昼休みになると13人で机を合わせてお弁当を食べたことや、体育の授業の時、柔道着に着替え、格技場の畳の上でストーブを囲み、ただゴロゴロして過ごしたことを、今でも鮮明に覚えています。

在学中に校舎の建替工事が行われたため、1年生は旧校舎、2年生は実習棟、3



年生は新校舎で学校生活を送りました。完成したての新校舎は、快適なものであったと思いますが、歴史ある旧校舎で1年間過ごせたことはとてもいい思い出となっています。

女子生徒の制服も当時と変わりがなく、また夫も函工の卒業生であることから、函工であるなど学生時代の共通の話題も多く、私にとって函工は今も身近な存在です。

インテリア科は大正10年に木工科として設立され、木材工芸科、インテリア科と時代とともに科名を変更し、平成12年3月に閉科となりましたが、工芸・インテリア科卒業生の絆は永遠に不滅です。(笑)

今年度の同窓会総会では、女性の出席者が16名ということで、木下副会長(工芸・インテリア科会長)から女性陣全員にサプライズプレゼントがあり、皆大変喜んでいました。さらに、終盤に行われた抽選会では、最後の1本で抽選に弱い私の番号が読上げられてびっくり!景品

の夕張メロンを大事に持って帰り、美味しくいただきました。幹事の建築科会の皆様大変お疲れさまでした。

ここ何年かで、平成卒の出席者も増えてきたように思います。私自身、若い頃は出席することがなかった同窓会ですが、思いがけない再会がありますし、年に何回か大勢で校歌を歌うのもいいものだなと思っています。

これからも、皆様のご協力のもと同窓会を盛り上げていきましょう!

私も微力ながら頑張ります!!

(H2インテリア科卒 堀部亜矢子/記)

土木・環境土木科

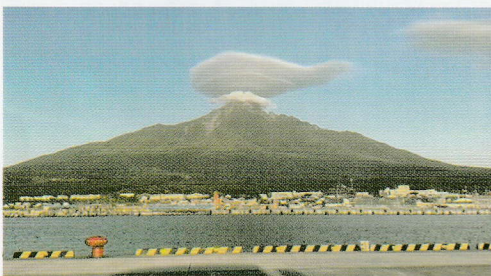
利尻島から世界を目指す

函館工業高校同窓生の皆さまにおかれましては、お元気でご活躍のことと思います。

私は、昭和五三年(1978年)土木科を卒業し、当時の土木科長、

小泉先生の勧めで北海道庁に入庁しました。初任地の函館土木現業所をかわきりに稚内、札幌、室蘭、本庁、稚内、留萌、旭川土木現業所(建設管理部)を転動して、様々な仕事を経験させて頂きました。

当別出張所では鉄道交差アンダーパス、苫小牧出張所では新千歳空港と苫小牧東部工業基地を結ぶ新規道



路事業、利尻では利尻空港建設事業、遠別・幌延の下水道事業等を担当しハードではありましたが、貴重な経験をする事ができました。

その後、平成一九年(2007年)旭川建設管理部を最後に、四七歳で早期退職させていただき、同年六月に妻の出身地で雄大な利尻山と見渡す限りの海という、私が大好きなロケーションの利尻島で『利尻らーめん味楽』を開業。夏と冬の気候差が大きいこの地で、妻と娘と三人で細々とラーメン店を営んできました。開業以来、利尻昆布を贅沢に使ったガラスープをベースに、妻が開発した『焼き醤油らーめん』を中心にお客様に提供していましたが、2012年にミシュランガイド北海道版で、ビブルマンの称号をいただくことができました。

後の2016年には飲食業の法人(合同会社)化もしました。この頃に新横浜ラーメン博物館から出店オフアールをいただいて、2017年3月に新横浜ラーメン博物館に2号店を出店することができ、

現在も出店中です。

また、この年に発行されたミシュランガイド北海道2017でも同称号をいただきました。多くのお客様から支持をいただき、昨年9月にIT企業のインフォメーション・ディベロプメントとの提携により、アメリカ合衆国ボストンに3号店をオープンし、11月にはニセコエリア倶知安町に単独で4号店をオープンすることが出来ました。

利尻島から、更に世界を目指して全社員で頑張っています。コンビニ大手のローソンで販売されているカップ麺・西山製麺製造のインスタント麺も販売されていますので、応援方よろしく願っています。

卒業して五〇年近く経ちますが、今でも時々砂原から当時の国鉄で通学したと、けしてキレイとは言えない4階建校舎(当時)や、同級生のことを懐かしく思い出します。

社会に出て二九年間、北海道庁建設部職員として北海道の発展に携われたこと、その後の利尻島での離島生活を楽しみなから、ラーメン作りに携わっていただけることに幸せを感じています。同窓の皆さまにも是非一度利尻島においでいただき、味わっていただきたいと思っています。更に日本の北の小さな島から、世界を目指して行きます。

終わりに、函館工業高校同窓会の皆様のご発展とご健勝をお祈り申し上げます。

(S53土木科卒 江刺家 美次/記)

H i R 合同会社(利尻ラーメン味楽)

代表執行委員 会長

電気・電子・情報技術科

総会および懇親会の開催

第69回電気・電子・情報技術科会『友愛』の総会および懇親会を、令和6年11月29日(金)午後6時から市内本町の居酒屋「花鳥風月」において開催しました。

今回は、新型コロナウイルス感染症の影響で5年ぶりの実施となりましたが、会員および学校関係者含め17名の参加をいただきました。総会では井田範行科会長(電子S51年卒)の挨拶の後、式次第により進行。役員幹事および事務局より、会務報告・会計報告(一般会計・基金運営会計)・会計監査の報告があり全員一致で承認され、スムーズに終了することが出来ました。

総会に引き続き、再度井田科会長の音頭により懇親会に入りました。今年は、以前同窓会報でも紹介しましたが、少子化等により学科が統合され、科名が電気情報工学科に変更となりましたが、学校より来賓として森昌也科長に出席をいただきました。また、例年出席いただいている会員の他、新たに4名の方に参加をいただいたことから、参加者全員により自己紹介を行い、在学時代のエピソードや思い出話、近況報告をいただき盛り上がりつつありました。また、来賓で出席いただいた森科長より、現在の在学生の近況や3年生の進路状況などについて説明がありました。約1/3が進学希望で、後は就職がほぼ内定しているなど報告をいただきました。

約2時間の楽しんだ時間も、あっという間に経過し盛会の内に、乾杯後来年の再開を約束しながら、無事終了することが出来ました。科会は昭和32年に発足し、昭和・平成・令和と時代が流れ情報工学科と科名変更後今回で2回目の卒業生を迎えます。来年70回目となりますが、多くの会員の皆様と共に継続していければと願っております。

今年は、コロナ禍により5年ぶりの開催で前回の名簿を基に案内をいたしました。が、参加者も少なく今後科会役員をはじめ多くの卒業生に周知出来る様、また職場での声掛け等協力を得ながら少しでも増やしていければと思います。総会案内状の送付や資料作成等にあたり、事務局の皆様には、お忙しい中有難うございました。

(S42電気科卒 石田 勉/記)



定時制

『定時制 函工祭』

今年度も大いに盛り上がりを見せた「定時制函工祭」の様子について報告します。4年生や生徒会執行部を中心に様々なアイデアを出し合いました。

まず前夜祭です。今年度も全校生徒によるビンゴ大会を行いました。生徒会の司会による進行のなか、ビンゴが出るたびに大歓声が起きました。またリーチが何列も起きているのになかなかビンゴにならない生徒もおり、番号が読み上げられるたびに競馬場での最後の直線のような怒号が鳴り響き、会場は大いに盛り上がりました。景品についても例年通り豪華な商品が用意され、中には高騰を見せている新鮮な野菜なども入っていました。

1日目は開祭式と映画上映です。

生徒からの希望があり今年の映画上映は『THE FIRST SLAM DUNK』でした。王者・山王工業を倒す問題児軍団・湘北高校のサクセスストーリーをみて生徒たちの胸も熱くなったことでしょう。そのせいか函工祭が終わって1か月が過ぎた今も、バスケットではないが放課後に体育館で運動をする生徒が増えています。生徒たちは卒業へのダンコたる決意を抱いたことと思います。

迎えた一般公開日は、定時制定番の「鉄板焼きそば」です。暑い中、熱い鉄板を前にしても怯むことなく、「並んでくれてるお客様の喜ぶ顔のために」という思いを胸に焼きそばを焼き続けまし

函工祭
鉄板焼そば
販売



函工祭
「揚げタコ焼き」
看板キャラクター

た。学年を超えた連携は目を見張るものがありました。200食の販売を予定していましたが、サービスピ精神が旺盛な生徒たちはモリモリで提供した結果、予定より少ない販売数となってしまいました。が、損得勘定ばかりを考えることなく誰かの喜びを考えられる真つすぐな心を育んでくれました。

4年生は「揚げタコ焼き」の模擬店販売を行いました。前日も夜遅くまで準備に勤しみ、かわいい看板キャラクターを作ったこともあり、当日は完売の賑わいを見せてくれました。また写真部による作品展示も行われ、日頃より一瞬一秒を逃さないよう研鑽を積んできたシャッタースピードから繰り出された写真たちは、見る人を笑いと感動の渦に包んでくれた

～元同窓会会報編集委員 浜田昌夫さんを偲んで～

昨年、浜田さんの訃報に接した際には同窓生一同驚き、惜別の念を禁じ得ませんでした。長きに渡り編集委員の一員としての編集作業やご自身が描いた絵を表紙として飾っていただいた功績は後世に残り続け、会報の発展に大きく寄与すると確信しております。改めて浜田さんに感謝の意を表すとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。

柏ヶ丘

函工同窓会報 第62号
～創立100周年記念特集号～



北海道函館工業高等学校同窓会

表紙絵のことは 「セメント工場の展望」

私が本格的に「絵」を描き始めたのはセメント工場でした。だれよりも自分が一番描いているという自負さえ感じておりました。ただし、自分の足を運べるのは限界があります。絵を描く素材は遠くまで行かなくても身近な所で描くことに、決めたのが、セメント工場でした。上磯町（北斗市）に安住のところが、40年余りこの地にいと、身近に又偉大にさえ感じました。

数年前に、かねてから是非にと思っていた、工場と原石を採掘している、養朗（ガロウ）鉱山の見学機会を得ました。現在稼働している工場は国内で唯一、100年を越える歴史もつ上磯工場は明治23年（1890年）に北海道セメント株式会社として創設されました。

しかしその歴史を辿ると、明治5年（1872年）開拓使は道庁の技師によって養朗鉱山が、発見されました、その後いろいろな時代を歩みながら現在に至っております。工場の特色である海上棧橋は昭和45年（1970年）に新設、昭和62年（1987年）に更に延長され石灰石採掘を養朗鉱山から全長6.2kmの長距離ベルトコンベアにより、直接工場に運搬、海上棧橋には6万トン級の運搬船が着岸が可能になりました。

この、歴史の刻み続けている、工場、鉱山のスケールの大きさに、圧倒されました。身近にこのような題材を知ってもらおう為にも、この「絵」を描き続けたいと思っております。

絵・文 浜田 昌夫（S29年工業化学科卒）社団法人 東光会 会友



施設見学先にて



有珠山山頂にて

一日目の工場見学では室蘭市にある日本製鉄関連施設を見学し、本物の緊張感ある現場に生きた研修とすることができました。

業は、天候にも恵まれ大変充実した研修とすることができました。

去る六月二十日（木）、二十一日（金）の二日間の日程で実施しました修学指導事業は、

令和六年度二学年 修学指導事業（宿泊研修）報告

去る六月二十日（木）、二十一日（金）の二日間の日程で実施しました修学指導事業は、

徒たちも身を乗り出して見学していたことが強く印象に残っています。

また二日目は有珠山トレッキングを行い、登りの苦しい状況を互いに励ましあい、山頂まで全員が登りきることができ、目標に向かって頑張り通す強い気持ちとその後の爽やかな達成感を感じ取ることができたと思います。

この研修で、クラスメイトが寝食を共にし、団体行動の規律を意識しながら行動し、互いを気遣い、声を掛け合い絆が深まったように感じました。保護者の皆様方にはご心配をおかけした面も多々あるうかと存じますが、ご理解とご協力に感謝いたします。

（担任 前野 哲也／記）

■ソフトテニス部

- ◎第53回北海道高校新人ソフトテニス選手権大会(令和5年9月16日～17日)
◇男子ダブルス 2回戦 佐川諒(電情1)・高田琉暉(子機1)・植村亮太(工化2)・蓬田爽真(建築2)◇女子ダブルス 2回戦 斉藤桃(子機2)・伊藤さく(環土1)◇男子シングルス 2回戦 佐川諒(電情1)・蓬田爽真(建築2)・植村亮太(工化2)・植山涼太(建築2)◇女子シングルス 1回戦 斉藤桃(子機2)
- ◎第53回北海道高校新人ソフトテニス選手権大会(令和6年1月23日～26日)
◇男子団体戦 ▷2回戦 函館工業 ②ー1 岩見沢緑陵
▷3回戦 函館工業 0ー② 札幌工業
- ◎第60回北海道高等学校インドアソフトテニス選手権大会(令和6年3月9日～10日)
◇男子ダブルス ☆ベスト16 佐川諒(電情1)・高田琉暉(子機1)▷2回戦 高森煌樹(電情1)・植山涼太(建築2)▷1回戦 植村亮太(工化2)・蓬田爽真(建築2)・佐藤優気(建築2)・溝江永一郎(環土1)
- ◎第76回北海道高等学校ソフトテニス選手権大会(令和6年6月4日～7日)
◇男子ダブルス ▷2回戦 佐川諒(電情2)・高田琉暉(子機2)△1回戦 植村亮太(工化3)・蓬田爽真(建築3)・佐藤優気(建築3)・溝江永一郎(環土2)・佐藤翔太(建築2)・澤田大和(工化2)◇女子ダブルス 2回戦 斉藤桃(子機3)・伊藤さく(環土2)◇男子団体戦 ▷1回戦 函工 3ー0 釧路湖陵 ▷2回戦 函工 0ー2 帯広農業
- ◎第78回国民体育大会ソフトテニス競技北海道ブロック予選会(令和6年8月9日～11日)
◇男子ダブルス ☆ベスト32 植村亮太(工化3)・蓬田爽真(建築3)・佐川諒(電情2)・高田琉暉(子機2)▷3回戦 高森煌樹(電情2)・植山涼太(建築3)◇女子ダブルス 2回戦 松崎虹夏(電情1)・伊藤さく(環土2)

■バドミントン部

- ◎第78回国民スポーツ大会バドミントン競技北海道予選会 兼 令和6年度北海道体育大会バドミントン競技会
◇男子ダブルス ▷1回戦敗退 西村虹輝(子機2)・古谷三四郎(電情2)
◇男子シングルス ▷1回戦敗退 古谷三四郎(電情2)・西村虹輝(子機2)
◇女子シングルス ▷1回戦敗退 古谷小梅(電情3)
- ◎第76回北海道高等学校バドミントン選手権大会 兼 第75回全国高等学校バドミントン選手権大会北海道予選会
◇男子団体 ☆南北海道ベスト8
◇男子ダブルス ▷2回戦敗退 西村虹輝(子機2)・古谷三四郎(電情2)
◇男子シングルス ▷2回戦敗退 西村虹輝(子機2)・古谷三四郎(電情2)
◇女子シングルス ▷1回戦敗退 古谷小梅(電情3)
- ◎第77回北海道バドミントン選手権大会
◇男子ダブルス ☆道ベスト16 西村虹輝(子機2)・古谷三四郎(電情2)
◇男子シングルス ▷2回戦敗退 西村虹輝(子機2)☆道ベスト16 古谷三四郎(電情2) ◇一般女子ダブルス ▷1回戦敗退 古谷小梅(電情3)

■バレーボール部

- ◎令和6年度第20回 北海道高等学校バレーボール新人大大会
▷函工 2ー1 静内 ▷函工 0ー2 旭工

■ハンドボール部

- ◎第47回全国高等学校ハンドボール選抜大会北海道予選会(令和6年1月16日～1月18日)
☆男子2位 ▷2回戦 函工 42ー30 札幌月寒
▷準決勝 函工 27ー22 札幌北陵 ▷決勝 函工 31ー37 函大有斗
☆女子3位 ▷1回戦 函工 12ー0 札幌新陽
▷2回戦 函工 23ー16 札幌静修 ▷準決勝 函工 15ー22 札幌月寒
- ◎第75回高体連ハンドボール選手権大会北海道予選会(令和6年6月19日～21日)
☆女子2回戦敗退
▷1回戦 函工 22ー19 帯広三条 ▷2回戦 函工 20ー23 釧路合同
- ◎国民スポーツ大会ハンドボール競技北海道予選会(令和6年8月16日～18日)
☆男子1位 ※函館選抜(3年 島津太雅、小川蒼生、井澤優介、辻智己)
▷準決勝 函館選抜 33ー19 釧路選抜 ▷決勝 函館選抜 33ー28 札幌選抜
☆女子1位 ※函館選抜(3年 小野寺恋叶、2年 武田芽依、1年 小川純鈴、小野花菜、川尻優風)▷準決勝 函館選抜 28ー17 札幌選抜 Jr.
▷決勝 函館選抜 23ー20 札幌選抜
- ◎国民スポーツ大会ハンドボール競技(令和6年10月8日～12日、佐賀県神埼市)
☆男子1回戦敗退 ▷1回戦 北海道 28ー49 埼玉県
※北海道(3年 島津太雅、小川蒼生、井澤優介、辻智己)
☆女子1回戦敗退 ▷1回戦 北海道 15ー35 山口県
※北海道(3年 小野寺恋叶、2年 武田芽依、1年 小川純鈴、小野花菜、川尻優風)

■卓球部

- ◎第77回北海道高等学校卓球選手権大会 兼 第93回全国高等学校卓球選手権大会北海道予選会
◇男子シングルス 中村 3回戦敗退
- ◎第78回国民スポーツ大会(卓球競技)北海道予選会
◇男子シングルス 中村 3回戦敗退
- ◎2024年度北海道卓球選手権大会(ジュニアの部)
◇男子シングルス 中村 4回戦敗退、大高 3回戦敗退
- ◎令和6年度第52回北海道高等学校卓球大会 兼 第52回全国高等学校卓球大会北海道予選会
◇学校対抗戦 3回戦敗退 ◇男子ダブルス 中村・大高 2回戦敗退

■ラグビー部

- ◎令和6年度北海道体育大会 兼 第80回国民体育大会北海道予選会(少年の部)ラグビーフットボール競技(令和6年6月14日～15日)
◇U17 道央選抜 A 5-0 道北選抜 C 道央選抜 A 4-0 オホーツク選抜 ※道央選抜 A(函館、札幌山の手) U17出場 電子機械科2年 田中星光
◇U18 道東選抜 1-5 道央選抜 B 道東選抜 0-4 道北選抜 ※道東選抜(函館、十勝、釧路) U18出場 工業化学科3年 外崎心人
- ◎KOBELCO CUP 2024 第20回全国高等学校合同チーム ラグビーフットボール大会(令和6年8月1日～3日)
◇U17 ※U17出場 電子機械科2年 田中星光
北海道ブロック 0-75 関東ブロック/北海道ブロック 14-42 東海ブロック
北海道ブロック 14-21 東北ブロック/北海道ブロック 7-19 四国ブロック
◇U18 ※U18出場 工業化学科3年 外崎心人
北海道ブロック 19-7 東北ブロック/北海道ブロック 0-12 関東ブロック
北海道ブロック 7-12 北信越ブロック/北海道ブロック 0-55 四国ブロック

■陸上競技部

- ◎第77回北海道高等学校陸上競技選手権大会(R6. 6. 11～14, 旭川花咲陸上競技場)
◇男子 ▷200m 石山海斗(環土3) 23. 16, 村山隆之介(子機3) 23. 20▷400m 重島来斗(子機3) 52. 72▷800m 葛西伊吹樹(環土3) 2. 00. 87▷1500m 葛西伊吹樹(環土3) 4. 12. 99▷5000m 佐藤輝(環土3) 14. 49. 59☆決勝6位 1H進出▷5000mW 渋谷悠汰(環土3) 25. 55. 87▷110mH 日隅陸斗(建築2) 15. 81☆準決勝進出、出村喜心矢(環土3) 15. 67☆準決勝進出▷3000SC 小松凌晴(環土3) 10. 13. 07、小西瑞空(電情3) 10. 32. 20▷走高跳 坂井大悟(建築2) 1m80☆決勝7位、対馬大良(子機3) 1m75▷走幅跳 亀谷彪斗(子機3) 6m50(予選)決勝進出▷三段跳 亀谷彪斗(子機3) 13m85☆決勝5位 1H進出、野田俊介(建築2) 12m74▷八種競技 松井翔汰(工化3) 4629点☆5位、植原慶(電情1) 3712点▷4×100R 石山、星子、村山、小西41. 91☆決勝5位 1H進出▷4×400R 重島、石山、坂井、村山3, 27. 47☆準決勝進出
◇女子 ▷100m 田端杏(電情3) 13. 17▷200m 田端杏(電情3) 27. 36▷100mH 佐藤小桜(建築3) 15. 78☆準決勝進出▷三段跳 佐藤小桜(建築3) 11m30☆決勝6位
- ◎2024全国高校総体(北九州インターハイ)(福岡博多の森R6. 7. 28～8. 1)
▷5000m 佐藤輝(環土3) 15. 59. 35▷4×100R 石山、星子、村山、小西42. 54▷三段跳 亀谷彪斗(子機3) 13m82
- ◎第40回北海道高等学校新人陸上競技大会(R6. 9. 18～20, 旭川花咲陸上競技場)▷100m 成田怜央(建築2) 11. 54▷200m 丸山慧(電情2) 23. 55、成田怜央(建築2) 23. 00▷400m 植原慶(電情1) 54. 48▷5000m 澤田大樹(環土2) 17. 30. 19▷110mH 日隅陸斗(建築2) 15. 42☆8位、平井勝瑛(建築1) 17. 57▷400mH 中新琉斗(子機1) 1. 01. 84▷走高跳 対馬大良(子機2) NM、坂井大悟(建築2) 1m75▷走幅跳 坂井大悟(建築2) 6m36▷三段跳 野田俊介(建築2) 13m40☆7位▷砲丸投 佐藤琥太郎(建築1) 7m86▷やり投 鈴木悠介(工化2) 40m02▷4×100R 丸山、坂井、成田、小西42. 93▷4×400R 植原、丸山、日隅、坂井 3. 30. 66
- ◎2024北海道高校駅伝競走大会(滝川市、10月20日)
☆総合 7 位 2時間20分00秒
佐藤輝、小西瑞空、葛西伊吹樹、小松凌晴、市村真啓、渋谷悠汰、澤田大樹

■柔道部

- ◎令和6年度北海道高等学校柔道大会(令和6年6月)
◇男子団体戦 予選リーグ敗退 ◇男子個人戦 丹羽郁太郎(電子3) +100kg 1回戦敗退、玉内結希(建築3) 73kg 1回戦敗退

■軽音楽部

- ◎北海道高等学校文化連盟第9回全道高等学校軽音楽大会(令和6年5月)
◇オリジナル部門 菊地亜香利(電情3)、岡田晃輝(電情3)、岩崎妃代理(工化3)、太田葵 ☆奨励賞
- ◎北海道高等学校軽音楽連盟 第8回全道高等学校軽音楽新人大大会(令和6年11月)
◇オリジナル部門 重島莉胡(環土2)、三浦由菜(子機2)、山田心愛(工化2) ☆連盟推薦出場
- ◎we are SNEAKER AGES 第4回全国高校 軽音楽部大会(令和6年12月)
岡田晃輝(電情3)、菊地亜香利(電情3)、小山内柚(電情3)、上嶋佑(電情3)、太田葵(工化3)、東梅祐樹(工化3)、八木栄治(工化3)、高田夏帆(工化2) 出場

■マイコン部

- ◎パソコン甲子園2024プログラミング部門予選(令和6年9月16日)
☆Aチーム:総合成績417位/5065チーム中 石山星雲(電情2)、田中海斗(電情1) ☆Bチーム:総合成績362位/5065チーム中 北島光琉(電情2)、高倉涼太(電情1)
- ◎第11回U-16プログラミングコンテスト北海道大会(令和6年11月19日)
☆2回戦敗退 阿部侑佑(電情1)、尾伊端こあ(電情1)宮田奏(電情1)

■美術部

- ◎2023 第14回 道展U21 ☆入選 松山葵(建築3)
- ◎第58回 全道高等学校美術展・研究大会
松山葵(建築3)、藤井楓(工化3)、岩崎結衣(電情2)、藤岡望来(建築1)

■新聞局

- ◎令和6年度 北海道高等学校文化連盟全道高等学校新聞コンクール【手描き・ワープロ部門】(令和6年10月4日) ☆優秀賞
◎北海道高等学校文化連盟第68回全道高等学校新聞研究大会(苫小牧大会)(令和6年10月2日～3日) 斎藤弘夢(工化1)、西村碧峻(工化1)

■図書局

- ◎北海道高等学校文化連盟 第45回 全道高等学校図書研究大会(令和6年9月26・27日)
小笠原実胡(建築2)、上野優月(工化2)、岩崎結衣(電情2)

■ものづくり愛好会

- ◎令和6年度第24回高校生ものづくりコンテスト自動車整備部門北海道大会
☆最優秀賞(第1位) 3年電子機械科 松浦諒明
☆優良賞(第3位) 2年電子機械科 山下皓大
- ◎第24回高校生ものづくりコンテスト全国大会 自動車整備部門
☆敢闘賞(第7位) 3年電子機械科 松浦諒明
- ◎令和6年度第24回高校生ものづくりコンテスト旋盤作業部門北海道ブロック大会
☆最優秀賞(第1位) 2年電子機械科 竹田優斗
☆第8位 1年電子機械科 成田 蒼
- ◎第24回高校生ものづくりコンテスト全国大会 旋盤作業部門
☆敢闘賞(第10位) 2年電子機械科 竹田優斗
- ◎令和6年度北海道高等学校ロボット競技大会 出場(8/23-24 北海道札幌琴似工業高等学校)
- ◎ものづくりコンテスト全国大会北海道ブロック大会 化学分析部門(令和6年6月21日(金))
☆優秀賞 奈良拓海(工化3)、佐々木琉汰(工化3)
☆優良賞 菊池雄心(工化3)
- ◎第24回高校生ものづくりコンテスト北海道ブロック大会(測量部門)
☆最優秀賞 2年環境土木科 永井陽人、北嶋航成、吉川蔵真
- ◎第24回高校生ものづくりコンテスト全国大会 測量部門
☆敢闘賞(第4位) 2年環境土木科 永井陽人、北嶋航成、吉川蔵真
- ◎第24回高校生ものづくりコンテスト全国大会北海道ブロック大会(電子回路組立部門2024/5/23)
電気情報工学科3年 大川優典、2年 北島光琉、高倉涼太



函工同窓会 総会・懇親会のご案内

担当／化学科会

※新型コロナウイルスの感染状況等により中止となる場合も考えられます。
決定次第、学校ホームページや新聞広告等に掲載致しますのでご確認ください。

日時 令和7年6月6日(金)

場所 ベルクラシック函館

午後6時～総会、6時45分～懇親会

会費 7,000円(新同窓生・女性会員4,000円)

令和6年度 進路状況

令和7年2月7日現在

	就 職					進 学			
	管内	道内	公務員	道外	合計	大学	短大専	専門	合計
希望数	30	30	9	32	101	41	3	44	88
内定数	30	30	9	32	101	41	3	44	88
内定率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

令和6年度 進路状況〔定時制課程〕

令和7年2月7日現在

	就 職					進 学			
	管内	道内	公務員	道外	合計	大学	短大専	専門	合計
希望数	3	3	0	0	6	1	0	1	2
内定数	2	3	0	0	5	0	0	1	1
内定率	67%	100%	-	-	83%	0%	-	100%	50%

行政職

事務職員 高橋 紗英
事務長 斎藤 貴治
新採用 七飯養護学校

定時制

電子機械 竹谷 寿輝
理 科 遠藤 雄希
教 頭 平沢 豊仁
家庭 鈴木 悟
新採用 函館工業高校(全)

全日制

電子機械 野寺 宏彰
電気情報 三上 遥
電気情報 古一 健太
電気情報 宮本 篤志
電気情報 井上 伸司
家庭 岩谷甲太郎
新採用 札幌工業高校(全)

転入者

行政職

専門主任 佐藤 祐子
事務長 中家 裕司
新採用 中標津高校

定時制

電子機械 堀内 清文
理 科 松浦 陽
教 頭 三原 現
新採用 札幌工業高校(全)

全日制

電子機械 佐藤 芳胤
電気情報 松本 諒
電気情報 中山 憲昭
電気情報 横島さおり
体育 鎌田 聡
理 科 平沢 豊仁
数 学 山本 裕也
国 語 安藤 和茂
新採用 函館商業高校(全)

転出者

※(全)全日制 (定)定時制

職員異動について

関東支部／☎042-535-2297

〒190-0001 東京都立川市若葉町4-25-1 若葉町団地6-408

中部支部／☎0568-82-9290

〒486-0844 愛知県春日井市鳥居松町3-121 プリンスハイツ509号

宮城支部／☎022-289-6559

〒984-0835 宮城県仙台市若林区今泉2-3-38

札幌支部／☎080-1891-0258

〒064-0944 札幌市中央区円山西町1丁目1-2-108

旭川支部／☎0166-24-1558

〒070-0002 旭川市新富2-2-4-18 ドルチェB-2D

釧路支部／☎0154-37-4034

〒085-0061 釧路市芦野3-19-16

江差支部／☎0139-52-4729

〒043-0033 松山郡江差町字豊川町219

松前支部／☎0139-42-2201

〒049-1506 松前郡松前町字唐津83-1 ハッピー・イトウ

木古内支部／☎01392-2-3131(内143)

〒049-0422 上磯郡木古内町字本町218

八雲支部／☎0137-62-2877

〒049-3102 二海郡八雲町東町258

函工同窓会
支部所在地



上記QRコードを
読み取りますと
函工同窓会のページへ
アクセスします。
ぜひご覧ください。
同窓会HP

函工クイズの答え ②

編集後記

今年度も無事に会報誌が発行できたことにほっとしています。原稿を寄せてくださった皆様により感謝申し上げます。私が編集委員会に携わるようになり4年が経ちましたが、原稿を書いてくれる卒業生を探すのが一番大変だと感じています。函館市内の企業に務めている卒業生もやはり40代以下が少なくなっている傾向で、残念ですが流出は止まらないのが現状だと日々感じています。これからも少しでも皆様に卒業生の今をお届けしたいと思いますので、ご協力いただける方は一報いただければとても嬉しいです。

(H7建築科卒 藤原 麻美/記)

同窓会の運営は新同窓会員の皆さんの永年会費と援助金によって成り立っております。「柏が丘」に添付しております郵便振替用紙で一口10000円の援助金にご協力をいただいた方には次年に発行される同窓会報を送らせていただきます。本会の諸事業を維持、継続するために今後とも皆さんのご理解、ご協力を重ねてお願い申し上げます。

援助金のお願い